

なからぎ

214号

2016年7月

イタリアの世界遺産都市の図書館を歩く

副学長・京都和食文化研究センター長 宗田好史

世界文化遺産の仕事でイタリアでの会議に参加すると図書館によく寄る。歴史ある町では美術館同様、歴史的図書館がその蔵書と共に文化遺産に挙げられる。

観光客にも有名なフィレンツェのラウレンツィアーナ図書館は、駅からほど近いサン・ロレンツォ聖堂の一画、ルネッサンスの名建築でもある。フィレンツェ歴史的市街地は1982年に世界遺産登録され、2013年にはメディチ家別荘群も登録された。フィレンツェ周辺の12の別荘には美術品の数々とやはり図書館がある。ピッラ・カステッロでは17世紀にアカデミア・クルスカがイタリア語の辞典を編纂、その資料が展示されている。様々な柑橘が並ぶ庭園同様にイタリア語を図解した油絵が有名である。

同じルネッサンス都市として2008年に登録されたマントヴァとサッピオネータには、マントヴァ公国時代の歴史的図書館がある。サッピオネータを最初に訪れた折に、町の図書館長が目敏く私を見つけ、慶長遣欧使節が寄った時の記録を見せてくれた。世界遺産とはいえ今では人口が500人に満たない小さな町には、日本人どころかイタリア人もめったに来ない。

一方のマントヴァは人口5万人弱だが立派な歴史都市、ルネッサンスから近代への歴史を育んだ知の集積ともいべきテレジアーナ図書館がある。この図書館は、美術館や博物館同様に観光客も見に来る。市民向け一般図書を貸し出すのはコミュニティセンター付属の市立の小図書館、アルキービオと呼ぶ古文書館が別があり、この歴史的図書館は古書コレクションの展示場、文化財古書から町の歴史を知る書籍博物館である。

高い天井まで続く書架に整然と並ぶ書籍の漆黒の革表紙に金文字が美しい。近づいて文字を読むと大部分がラテン語。フランス語もあるが、科学系書籍にはドイツ語が目立ち、地誌にはイタリア語もある。フィレンツェの図書館に多い写本はラテン語とギリシャ文字、マントヴァの蔵書にはドイツ文字が多い。言語ごとにフォントも違い、同じドイツ語でも柔らかいフォントの本には、馴染みのある土木建築の本がある。許しをえて取り出すと中から今の教科書にも載る図が見え、水利学が当時の最新技術だったことが分る。そういえば、マントヴァは水の町、至る所に運河と水門、水車がある。橋も多く、オランダに残る蒸気機関付の跳橋や回転橋もあった。図をみると上部構造はこの本の通りだが、石造基礎部が違う。石と鉄材、銑鉄から鋼鉄へと材料が変わり、作り手も石工からエンジニアに代わった過程が垣間見える。

19世紀初頭にはこの両者の関係は余程違ったのだろう。そういえば、フィレンツェではお馴染みの職人組合の建物がマントヴァには少ない。その代り、科学とかアカデミアと名の付く記念建造物が目立つ。この本を集めた当時の学者やエンジニアが地元の職人と議論を交わしつつ、マントヴァの近代化が始まった様子が書架に残されている。マントヴァの世界遺産推薦書に引用された本もある。

ところで、そのイタリアから私が持ち帰った都市計画書の数々は、数年後には去るこの府立大図書館に残すことは許されるのだろうか。そして、いつか誰かが私のイタリア研究を忍んでくれることがあるのだろうか。この稿を書きながら、ふと考えてしまった。

(むねた よしふみ：生命環境科学研究科教授)

アスリートの心理を覗く

図書館運営委員 青 井 渉

9 回満塁でマウンドに立つピッチャー、サッカー PK で味方の期待を一身に背負うキッカー、アスリートは時として極限の心理状態に晒されます。本稿では、異端的ともいえるアスリートの生活、心理に迫った 2 冊の本を紹介します。

「EAT & RUN」(スコット・ジュレク、スティーヴ・フリードマン著、小原久典・北村ポーリン訳、NHK 出版、2013年)

42.195キロ以上の距離のマラソンレースをウルトラマラソンといいます。本書はウルトラマラソンランナーである著者が多くの肉体的、精神的困難を乗り越えて走り続ける様子が描かれています。驚くべきことに著者は完全な菜食主義者であることです。通常、アスリートは筋肉づくりのため、一般の人よりも多くのたんぱく質を摂取する必要があります。特に肉や魚など動物性食品には良質のたんぱく質が多く含まれているため、これらの動物性食品を食べない菜食主義者は筋肉づくりにおいて不利であると考えられています。グルメで料理人でもある著者は動物性食品を使用せず、食材、調理法を工夫して栄養価の高い美味しい料理を開発し、本書でも多くのレシピを紹介しています。“たまり醤油とライム風味のテンペの玄米丼”、“ココ・リッゾ・クーラー (ココナッツミルクライス)”などはお米を使った料理で日本人アスリートにもうけるのではないのでしょうか。

単調な道のりをひたすら走り、誰よりも早くゴールを目指すマラソンは競技としてはわかりやすいですが、強靱な肉体に加えて並外れた精神力が要求されるスポーツです。特にウルトラマラソンは24時間を超えて走り続け

るレースもしばしばあり、レース中の精神状態は想像を絶するものがあるでしょう。なぜそのような過酷なマラソンレースを走るのか？ 著者は「24時間レースならではの単調さからしか生まれえない忘我の境地を自分の中に探したかった」とコメントしています。また多発性硬化症を患い、人生の大半を歩けずに過ごした母親の代わりに走ることにした、とも記しています。1 位でゴールテープを切ってレースに勝利したときの喜びは他のスポーツとも共通する部分でもあり、努力が報われたと感じる瞬間でもあります。日々のトレーニング、レース前の綿密な準備、レース中における自分あるいは他者との闘い・駆け引き、同じ価値観を持つ仲間との出会い……100回以上ウルトラマラソンを完走した著者にしか語れない未曾有の境地に、読者として足を踏み入れてははいかがでしょうか。

「果てなき渴望」(増田晶文著、草思社、2000年)

ノンフィクション作家の著者が、ボディビルダーの取材を通して、彼らの日常と深層心理を書き下ろしたものです。レジスタンス運動(筋トレ)は今でこそ美容や健康のために欠かせないことが認識されるようになり広く普及していますが、ひと昔前まではパワー系アスリートの補助トレーニングなど限定的な目的でしか行われなかった運動法でした。ボディビルダーは、ナルシスト、使えない筋肉、見た目だけで力はない、などと揶揄され、ボディビルチャンピオンになった肉体を武器に映画スターとなったアーノルド・シュワルツァネッガーのような例外を除いて、世間から脚光を浴びることはほとんどなく、その生

活はブラックボックスに包まれています。コンテストビルダーともなると、非常にストイックな生活を送ることとなり、世間から理解されないことが多いです。にもかかわらず、彼らはなぜそのような世界に強烈な価値観を見出しているのでしょうか。本書では、筋トレ好きの三島由紀夫のエピソードに始まり、トップクラスのコンテストボディビルダーが時間、金銭、人間関係、家族団欒の犠牲を厭わず、筋肉を増量させる行為、すなわちハードなトレーニングとストイックな食事に情熱を注ぎこむ様子がリアルに描かれています。シーズンオフ（主に冬場）は体脂肪をそれほど気にすることなく筋肉を肥大させることに集中します。コンテスト数か月前になると減量期に入りますが、筋肉量を維持しながら、体脂肪量を極限にまで減らします。10kg 以上の脂肪を減量し、体脂肪率 5% 以下を目標とします。筋肉を極限にまで発達させ、かつ体脂肪を極限まで削ぎ落とす作業は一朝一夕に生半可な意志では達成することができず、長期間の弛まない努力が必要です。さらに、舞台の上で筋肉の見栄えを良くするように日焼けも必要になります。

女性ボディビルダーを取材した章では、女性本来の脂肪質な体格とは対極にある筋肉質な肉体を目指す姿が紹介されています。また、60歳を超える年齢になってもコンテストへ出続ける高齢ボディビルダーも紹介されています。たしかに、運動の介入研究においても、80歳代であっても筋肉は肥大することが観察されており、生涯スポーツとして考えることができるかもしれません。さらに特筆すべき点は、アナボリックステロイド（筋肉増強剤）を使用しているビルダーまで取材をしていることです。もちろん、ほとんど全てのボディビルダーは薬物を使用することはありませんし、コンテストではアンチドーピング機

構による厳しい検査も行われています。一方で、一部の海外で開催されるコンテストでは、薬物検査が行われないものがあります。ここでは、いかなる手段を使ってでも多くの筋肉を身に纏いたい一心で薬物に手を出すボディビルダーの心理が克明に描かれています。ボディビルディングを通して、身体の外観を変える一つの行為が、人の心をこれほどまでに動かすということを本書で堪能していただきたいです。



御紹介の『EAT & RUN：100マイルを走る僕の旅』スコット・ジュレク、スティーヴ・フリードマン著；小原久典、北村ポーリン訳 NHK 出版 2013.2刊（請求記号782.3 || J）、『果てなき渴望：ボディビルに憑かれた人々』（草思社文庫）増田晶文著 草思社 2012.6刊（請求記号781.5 || M）は、2階閲覧室入口に配架していますので御活用ください。

平成27年度の利用者サービスをふりかえって

国立国会図書館デジタル送信サービスは順調に利用

～学外からの論文取寄せに係る負担軽減は3万円以上～

26年度が特定の利用者に限定されていたのに対し、27年度は他大学への論文取寄せ依頼をする前の確認時に上記のサービスが活用できることを発見する事例が多く見られました。(複写件数26年度12件 7月から試行開始 → 27年度72件)

また、職員側のツールとしても毎日必ず活用するデータベースの一つになっています。

同サービスを利用すると、館内資料の複写と同様1枚10円でプリントアウト(職員代行)が可能です。72件全て取寄せたと仮定すると、コピー料金とプリントアウトとの差額と郵送料金の合計が3万円以上になります。先生方や学生の皆さんの負担軽減に大いに役立っているといえるのではないのでしょうか。

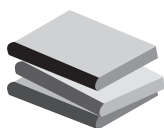
貸出冊数は上昇に転じ、 電子資料の利用も増加

26年度は学生(学部生+院生)の年間貸出数が2万冊を切ってしまいましたが、昨年度は2万冊を超えることができました。

(19,862冊 → 20,465冊)

電子資料では27年度にEBSCO-hostのデータベースが上位のAcademic Search Premierに更新されたことに伴いフルテキストへのアクセス数が26年度の2.6倍にもなったことが大きな特徴と言えます。

(331件 → 880件)



他大学への閲覧依頼件数は 3年連続減少、受付件数は倍増

	25年度	26年度	27年度
閲覧依頼	243	215	186
閲覧受付	91	105	212

他大学からの訪問利用が増加しているのは、27年度から稲盛記念会館での授業が通年で開始されたのが大きな要因と思われます。

他大学への訪問利用はピーク時には1,000件を超えた年もありましたが、27年度は初めて受付件数を下回りました。電子資料で本文が見られるものが年々増加していること以外に、府大資料も少しは充実してきたのかもしれない。



法律系データベース Westlaw. を 新規に契約しました！

本年4月から、法律系のデータベース『Westlaw Japan』（日本法）と『Westlaw Next』（海外法）を契約しました。法律や判例の検索はもちろん、ほかにも便利な機能があります。どんどん活用してください。



学内のPCから
図書館HP
↓
データベース
↓
「●データベース」から
Westlawをクリックしてください。

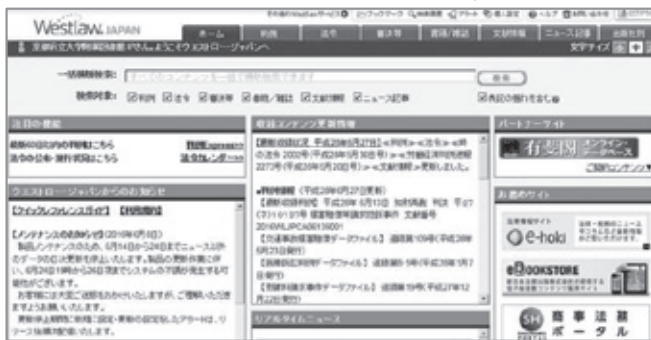
※学外からは利用できません。
学内からご利用ください。



◆1アクセスのみ◆
※利用後は必ずログアウト
してください。

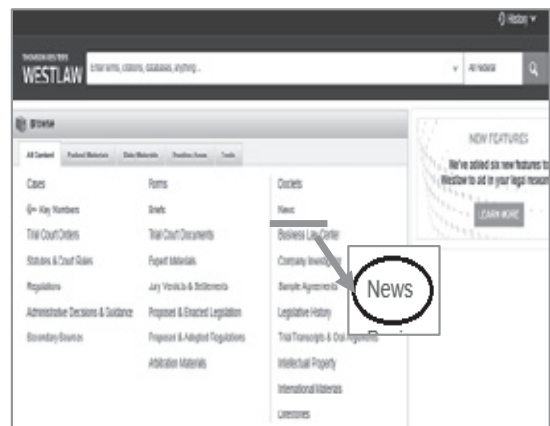


◆アクセス無制限◆



雑誌等の全文が読
めます！

- 判例タイムス
- 別冊金融・商事判例
- 東京大学法科大学院
ローレビュー
- 京都大学法学論叢
- 新日本法規(単行本)



海外の新聞記事が
読めます！

貸出はお早めに。


8/11 (木・祝) ~ 9/19 (月・祝) は、新館準備作業で休館するため、貸出ができません。

7/27 (水) ~ 夏休み貸出が始まります!!

学部生・院生の皆さんの
通常貸出冊数は…

今年も12冊!!

院生・4回生の皆さん
特別貸出 (1ヶ月6冊) はそのまま♪
合わせて18冊



**返却予定日
10/11 (火)**

夏期臨時休館のお知らせ (8月12日(金)~9月16日(金))

図書への IC タグ貼付作業など、新館移転に向けた準備のため、8月12日から9月16日まで臨時休館とさせていただきますので、ご理解ご協力をお願いします。(IC タグ貼付作業は、書庫を中心に開館中も2月まで続きます。) なお、上記期間中も相互利用に関する受付はします。詳細は、図書館 HP をご覧ください。

カレンダー

開館時間

9:00~ 21:00	9:00~ 17:00	休館 土日祝 新館準備作業
----------------	----------------	---------------------

☆閉館時の図書の返却は、図書館西側(喫煙コーナー付近)の返却ポストをご利用ください。

2016年7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2016年8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2016年9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

<p>★7/23(土)24(日) 10:00~16:00 オープンキャンパスのため2階閲覧室開室 ※学内者は利用可 (通常業務は行いません)</p> <p>★7/27(水)~ 夏休み長期貸出開始 返却期限 10/11(火) 学生の貸出冊数 12冊</p>	<p>★8/10(水) 開館時間変更 9:00~17:00</p> <p>★8/12(金)~9/16(金) 新館準備作業のため、休館。 (資料の貸出・閲覧等はできません。ご了承ください。) 学内者は、3階各室の利用は可 (9:00~17:00)</p>	<p>★8/12(金)~9/16(金) 新館準備作業のため、休館。 (※詳細は8月カレンダー参照)</p> <p>★9/20(火)~30(金) 開館時間変更 9:00~17:00</p> <p>★10/3(月)~ 通常開館 21時閉館</p>
---	--	---